

大橋平右衛門と代官下役人たち

はじめに

☆代官下役人手附・手代とは

幕府領の郡代・代官の各役所に詰めていた代官の属僚。手代は近世前期には管轄地の有力百姓や浪人から適時採用されたが、中後期には手代を家職とするものが増え、世襲化が進んだ。手附は寛政3年(1791)に新設された役職で、手附は幕臣であるが、手代は幕臣には当たらないという身分上の区別はあるものの職掌上の区別はない。手附・手代の筆頭を元締と呼ぶ。

1 大橋家文書に名前が見られる代官下役人たち →表1

- ・名代官の下には有能な属領(手附・手代)が勤務→意訳1・2
- ・代官同士で手附・手代をやり取りする「賞請け」が行われ、有能な手附・手代は引く手あまただった

2 代官手代・内田清次郎について→表2

内田清次郎よしたか義堯 寛政6年～明治17年(1794～1884)

清介とも名乗る。号は清斎。文化6年～文政元年(1809～1818)の間、倉敷代官を務めた大原四郎右衛門信好の手附・内田弾助の子と考えられる。大橋家文書には多数の大橋平右衛門正直宛の内田の書状があり、その内容から浪人中の天保14年から弘化3年(1843～1846)の間に倉敷を訪ねていることが分かる。仕えた代官・郡代には江川英龍、小野高福、屋代忠良、角倉玄寧など、治績をあげ、文化人でもあった人物が多い。自らも和歌を詠み、明治初年の人名録に歌人として掲載されている。

3 大橋平右衛門正直あて書状に見る手附・手代の働き

(1)書画骨董の取次→意訳3～5・表3

手附・手代たちは江戸・京都の人気作家の作品を大橋正直に周旋

- ・正直が依頼した作品を倉敷に送付
- ・作家に制作を依頼
- ・京都の画家・文人たちの情報を提供
- ・書画の鑑定の請負い

※大橋正直は手附手代たちを通じて江戸や京の文化を享受

(2)公私にわたる大橋家への機密情報の提供や助言

①代官や属僚たちの役替え(人事異動)の情報提供→意識6・7

- ・新たに赴任してくる代官とその属僚たちの名前や職能、性格などの情報を正直に提供
- ・倉敷へ赴任する前の代官や手代たちに面会して倉敷の様相や大橋家についての情報を提供→意識8・9
- ・倉敷代官所以外の役人たちの役替え・大名たちの転封などの情報も提供

※幕府領の村々にとって大きな関心事である支配替えの情報を入手

②江戸出訴になった争論の進捗報告やアドバイス→意識10・11

- ・江戸へ出てきている代理人たちの様子や裁判の成り行きを知らせて助言

※倉敷にいながら、いち早く江戸の裁判の進捗や事を有利に進める手段を知り得る

③恩賞(格式免許)の希望を取り次ぐ→意識12

格式免許…江戸時代、幕府や諸藩は武士以外の身分の者や役人などで特別な功績をあげた者、孝行や学術修行などで奇行な行為のあった者、多額の御用金を上納した者などに褒章として、苗字帯刀や扶持などの特権を恩典として与えた

- ・大橋家の格式免許→表4
- ・大橋正直の望む恩賞を、勘定吟味役に伝え便宜を図る

※献金などによる対価として与えられる特権を代官下役人たちの助力で拡大

④江戸や任地の世相・風聞を伝える→意識13

- ・政治・経済の情勢
- ・地域の景況
- ・江戸・京の風俗

※江戸や上方、地方の政治・経済・文化に関する情報を入手

☆手附・手代たちは世襲や縁組、定期的な役替えなどにより幅広いネットワークを形成しており、さらにその上司である代官も、組合の組織によって同職のつながりが深かった。代官と属領たちの重層的なネットワークにより、手附・手代たちは多くの機密を握っていたと思われる。

4 まとめ～大橋家文書から読み取れること～

☆倉敷に赴任した代官下役人たちは倉敷を離れた後も大橋家と交流があり、倉敷代官所の支配替えや訴訟に関する情報など、多くの機密情報を大橋家に提供していた

☆惣代庄屋や掛屋などを務めた大橋家は、幕府領代官役所と各村の間に位置する在地の中間支配機関の中心的存在であったが、大橋家と代官との間に介在する代官下役人(手附・手代)たちの働きにより、さらにその地位を強固なものにしていったと推測される

主な参考文献

- ・永山卯三郎編『倉敷市史』第四冊・五冊 1973年 名著出版
- ・『新修倉敷市史』第三巻 近世(上) 2000年 倉敷市
- ・『新修倉敷市史』第四巻 近世(下) 2003年 倉敷市
- ・山本太郎『近世幕府領支配と地域社会構造 備中倉敷代官役所管下幕府領の研究』
2010年 清文堂出版
- ・山本太郎「赴任する倉敷代官に伝えられた内々の情報について」『岡山地方史研究』138 2016年
- ・久留島浩『近世幕領の行政と組合村』2002年 東京大学出版
- ・戸森麻衣子「近世後期の幕領代官所役人-その「集団」形成をめぐる-」『史学雑誌』110 2001年
- ・戸森麻衣子「代官所役人集団と幕領組合村惣代-幕末期出羽国村山郡の事例から-」
『学習院大学学術成果リポジトリ』より (<https://glim-re.repo.nii.ac.jp>)
- ・安池尋幸「文化末年在府代官家政と手附・手代等の日常活動-竹垣直清『掌記』を再読する-」
『横須賀市博物館研究報告』(人文科学)第63号 2018年
- ・大石学編『江戸幕府大事典』2009年 吉川弘文館
- ・『日本史広辞典』1997年 山川出版社